

# 神経科学Ⅲ

## 授業概要

高次脳機能の神経機構について、神経解剖学、神経病理学、神経心理学並びに臨床神経学の視点から学ぶとともに、高次脳機能障害の成因、治療および予知予防に関する理解を深める。さらに、これらの研究における最新の知見と動向についても学ぶ。

## 担当教員

安井幸彦（主担当）	教授・神経形態学
山口修平	教授・内科学第三
長井 篤	教授・臨床検査医学
小黒浩明	講師・神経内科
小野田慶一	講師・内科学第三

## 一般目標 general instructional objectives

1. 高次脳機能の解析法について理解する。
2. 高次脳機能の発現に関わる神経機構を多角的に捉えて理解する。
3. 高次脳機能障害の病態、診断、治療について理解する。

## 行動目標 specific behavioral objectives

1. 高次脳機能の研究に必要な解析法を把握し、応用できる。
2. 記憶や注意などの高次脳機能の神経機構を説明できる。
3. 高次脳機能障害の成因、病態、治療を神経基盤に基づいて説明できる。

## 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

## 使用テキスト・参考文献

適宜推薦する。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担当
1	高次脳機能の神経基盤と機能形態学的解析 1	安井幸彦
2	高次脳機能の神経基盤と機能形態学的解析 2	安井幸彦
3	高次脳機能の神経基盤と機能形態学的解析 3	安井幸彦
4	高次脳機能のマクロ的神経基盤 1	小野田慶一
5	高次脳機能のマクロ的神経基盤 2	小野田慶一
6	高次脳機能のマクロ的神経基盤 3	小野田慶一
7	脳機能解析のための細胞培養とモデル動物 1	長井 篤
8	脳機能解析のための細胞培養とモデル動物 2	長井 篤
9	脳機能解析のための細胞培養とモデル動物 3	長井 篤
10	高次脳機能の非侵襲的解析と高次脳機能障害の診断 1	山口修平
11	高次脳機能の非侵襲的解析と高次脳機能障害の診断 2	山口修平
12	高次脳機能の非侵襲的解析と高次脳機能障害の診断 3	山口修平
13	高次脳機能障害の治療と治癒 1	小黒浩明
14	高次脳機能障害の治療と治癒 2	小黒浩明
15	高次脳機能障害の治療と治癒 3	小黒浩明